

令和4年度の重点事業について

■重点事業1 「広瀬川1万人プロジェクト」 【継続】

事業概要	広瀬川流域における一斉清掃活動
実施主体	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会
成果目標	参加者数 約1,800人程度（春：700人、秋：1,100人程度と見込む）
スケジュール	春の流域一斉清掃：4月23日（土）、秋の流域一斉清掃：10月1日（土）

重点事業1 広瀬川1万人プロジェクト	春の流域一斉清掃		秋の流域一斉清掃	
	参加者数	ゴミの数	参加者数	ゴミの数
会場名 ※ () は会場担当				
①作並 (作並地区未来プロジェクト/ニッカウモスキー(株)仙台工場/仙台環境開発(株))	100	36	60	13
②野川橋 ((株)宮城衛生環境公社)			13	3
③折立 (仙台市カヌー協会/三洋テクニクス(株))			32	8
④牛越橋 ((株)建設技術研究所)			64	10
⑤澱橋 ((株)深松組/広瀬川を楽しむ会)	209	11	196	9
⑥仲ノ瀬橋 ((特活)都市デザインワークス)	39	5	42	7
⑦大橋左岸 (春:(特活)水・環境ネット東北、秋:(株)NJS)	118	10	74	2
⑧大橋右岸 (中野建設コンサルタント(株))			83	4
⑨評定河原橋 ((株)バイタルネット)			61	5
⑩米ヶ袋 (パシフィックコンサルタンツ(株))			47	9
⑪宮沢橋 ((株)サトー技建/実行委員会事務局)			128	4
⑫広瀬橋 (仙台城南高等学校)			152	6
⑬八本松 (八本松緑地愛護協力会/(特活)水・環境ネット東北)			45	2
⑭千代大橋 ((一社)仙台建設業協会)	148	34	136	37
⑮太白大橋 (仙台市百年の杜推進課)			31	12
⑯名取川鉄道橋 (名取川水質汚濁対策連絡協議会)			7	15
⑰閑上大橋 (情報労連宮城県協議会/(特活)名取ハマボウフウの会)	168	96		
⑱閑上海岸 (情報労連宮城県協議会/(特活)名取ハマボウフウの会/西松建設(株))			153	82
⑲かわまちてらす閑上 (名取川水質汚濁対策連絡協議会)			19	8
⑳荒浜海岸 (春:みやぎ環境とくらしネットワーク、秋:ビーチテニスクラブ東北/荒浜復興推進協議会)	81	20	56	25
㉑貞山運河新堀 (貞山運河倶楽部)	31	15		
合計 ※ [] は昨年秋からの増減	894 人	227 袋	1,399人【+326】	261 袋【+53】

【重点事業1】 広瀬川1万人プロジェクト

■ 成果目標

参加者数 約1,800人程度（春：700人、秋：1,100人）

■ 評価

参加者数は、2,293人（春：894人）と（秋：1,399人）となり、目標を達成することができた。また、当年度は春の一斉清掃が3年ぶりに実施されると共に、広瀬川1万人プロジェクト実行委員会が設立20周年を迎え、記念総会が開催された。（参考資料3参照）

《清掃活動の様子》



■ 来年度に向けて

本市では、今年の4月26日から国内最大級の花と緑の祭典である「全国都市緑化仙台フェア」を青葉山公園や西公園、また、広瀬川をメイン会場として開催します。そして、仙台フェア開催前の4月22日にはメイン会場付近を含め春の流域一斉清掃が実施される予定であり、この全国的な一大イベントである緑化フェアの開催を、広瀬川の魅力や広瀬川1万人プロジェクトの活動を国内外に広く発信する貴重な機会と捉え、本市としても情報発信に努めます。

令和4年度の重点事業について

■重点事業2 「アイラブ広瀬川プロジェクト」

事業概要	広瀬川の魅力を再認識できる取組み 例) 広瀬川に関わるワークショップ、自然・歴史・文化に関する講座など
実施主体	仙台市、その他活動団体
成果目標	広瀬川の魅力を再認識してもらう (本市が実施主体となる取組みでは、参加した方の80%以上に満足していただくことを目標とする)

令和4年度の重点事業について

令和4年度「アイラブ広瀬川プロジェクト」

- ・ 広瀬川自然体験学習（8月21日（日）） 【継続】
- ・ Art Standing in SENDAI
〔 壁画アート制作：10月24日（月）～11月6日（日）、
お披露目会：11月13日（日） 〕 【新規】
- ・ 広瀬川スマホ写真教室（2月25日（土）） 【新規】

※仙台市が主体的に関わり、年度途中で実施が決定した事業を2件、新規事業として記載

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト

■名称：広瀬川自然体験学習 【継続】 ■開催日：令和4年8月21日（日）

■主催：仙台市百年の杜推進課 ■協力：広瀬川市民会議

■場所：仙台市青葉区ニツカ地内（新川）

※ニツカウヰスキー株式会社仙台工場の敷地に隣接する新川で、
作並かっぱ祭りの代替として、令和2年度から開催している。

■対象：小学生 ■参加者：31人（含む、小学1・2年生の同伴の保護者）

■内容：広瀬川の支流である新川にて、インストラクターの指導のもと、
小学生を対象に川の生き物探しや安全講習等を中心としたイベントを開催した。



【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト

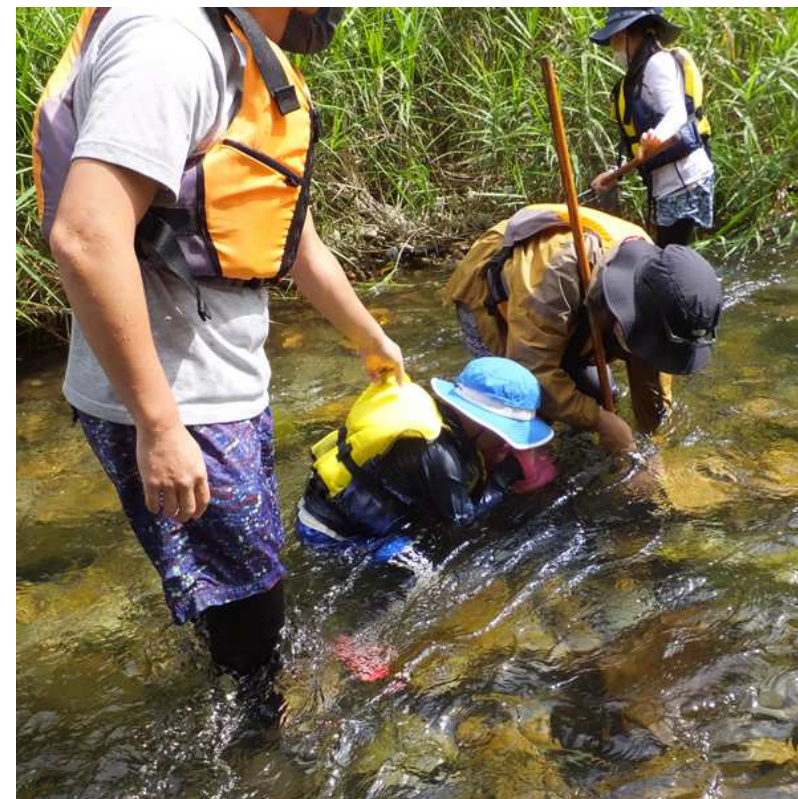
■ 成果目標

参加者の80%以上に満足していただく

■ 評価

参加者31人にアンケートを実施し、結果、97%の参加者から『すごく満足』『やや満足』との高評価が得られ、参加した方の80%以上に満足いただくという目標を達成することができた。

「川の生き物探しの様子」



■ 来年度に向けて

参加者からは『水の冷たさや石の滑る感じなど、体験しないと分からないことを学べた』『歩いて生き物を捕まえたのが楽しかった』などの感想をいただき、本イベントを通して、普段あまり体験することができない広瀬川の魅力を再認識していただけたと考え、今後も引き続き、同様のイベントを実施していきたいと考えております。

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト

■名称：Art Standing in SENDAI 【新規】

■場所：広瀬川宮沢橋下流左岸

■主催：仙台商工会議所青年部

■共催：河原町商店街振興組合、仙台市

■壁画アート制作期間

：令和4年10月24日（月）～11月6日（日）

■お披露目会：令和4年11月13日（日）10時～16時

■内容：近隣の小・中学生と広瀬川の擁壁に壁画アートを実施し、完成お披露目会では当日参加が可能なワークショップを準備して市民が広瀬川の河川敷とアートに触れる機会を創出する。

※まちくるファンド仙台のクラウドファンディングを活用し9月15日～10月30日の間で50人の支援者から1,581,900円の支援を受けた。



【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト

■ 成果目標

参加者に広瀬川の魅力を再認識してもらう

■ 評価

児童・生徒の皆さんが壁画アート制作という普段体験することができない経験ができ、また、多くの市民がお披露目会当日のワークショップで河川敷でのアート体験に参加することで、あらためて広瀬川の魅力を再認識できる貴重な機会となった。

《完成した壁画アートの全景（幅30m・高さ1.2m）》



近隣の小・中学生をはじめ222人の方と一緒に壁画アートを制作し、完成お披露目会では東北生活文化大学高校の生徒など多くの関係者のご協力を得てアート体験・出店ブースを設け、713人の市民の皆様にご参加をいただきました。また、参加いただいた学生からは「いつも大きさが決まっているものに描くけれど、こんなに大きなものに好きに描くのは楽しい」などの感想がありました。 ※令和5年10月中に近隣の小・中学生と、壁画を描く前の状態へ現状復旧を予定している。

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト

- 名称：広瀬川スマホ写真教室 【新規】 ■開催日：令和5年2月25日（土）
- 主催：仙台市百年の杜推進課 ■参加者：13人
- 場所：【午前】 広瀬川河川敷の広瀬橋～愛宕大橋上流を散策しながら写真撮影
【午後】 仙台市荒町市民センター（第3会議室）で座学講座
- 内容：広瀬川沿いの見どころを徒歩で巡りながら、フォトグラファーの指導のもと、スマホによる写真撮影の仕方や編集などの基本について学んだ。



【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト

いしずえ

■ 成果目標

参加者の80%以上に満足していただく

■ 評価

参加者13人にアンケートを実施し、結果、100%の参加者から『すごく満足』との高評価が得られ、参加した方の80%以上に満足いただくという目標を達成することができた。

「参加者の作品例 題：『新しい橋の礎』」



■ 来年度に向けて

参加者からは『仙台生まれ仙台育ちで広瀬川はいつも身近にありました。しかし、初めて歩いた場所があり、新しい発見がありました。』『今まで18年近く住んでいましたが、知らないことや知らない発見ができ、また機会があれば参加したいです。』などの感想をいただき、本イベントを通して、広瀬川の魅力を再認識していただけたと考え、今後も引き続き、同様のイベント実施を検討していきたいと考えています。